6月 学校だより

令和5年5月31日
横浜市立八景小学校
校 長 中川 琴似
https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hakkei/

スズメの子育て

校長　中川 琴似

我が家のベランダでは、欠けたお皿にパンくずなどを入れて置いています。

ここ毎日、スズメが２羽来てそれをつついています。よく見ると、１羽は翼をパタパタさせ、嘴を開けています。雛と親鳥のようです。体の大きさはどちらも同じ位なので、もうすぐ巣立つのでしょう。

2021 年、国内で繁殖する野鳥の分布などを調べる約 20 年に一回の全国調査で、スズメやツバメといった身近な鳥が 1990 年代に比べて減っているというニュースがありました。日本鳥学会によれば、現在のスズメの個体数は 1960 年と比べると１０分の１だそうです。そのニュース以来、スズメのために餌の皿を置き、毎日「来るといいな」と、眺めています。

スズメは通常はイネ科の植物を餌として食べるため、お米に被害が出る害鳥と思われます。ところが、繁殖期は親スズメが田畑の害虫となる虫を捕食してくれるため、その時は益鳥になります。３月～９月の繁殖期に２、３回子育てを繰り返し、５月は最初の巣立ちの時期です。

八景小学校では、５月は３年生の遠足からスタートし、個人面談、なかよし活動、５・６年有志の自転車マナーアップ大会の練習と本番、１・３年のはまっこ交通安全教室、１９日の予定だった全校の「なかよし遠足」は２６日に爽やかなお天気で実施できました。この後６月もすぐに６年生は修学旅行、４年生は野島での初めての宿泊学習、とイベントが目白押しです。

こうした多くの体験や学習を通して、学校の中の今の自分だけでなく、一人ひとりが上級生の姿を見たり、保護者や地域の方の協力に気づいたり、これからの自分の世界をイメージすることに繋がってくれればと願っています。

５月は子どもたちの活動のために、保護者の皆様に数多くのご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。登下校の時に校庭の端で、PTA のサポートでは校内、校外で、ご挨拶できてうれしいとともに頭が下がる思いでした。

新年度が始まってから約２か月、新しい環境に対して慣れてきたり、あるいは少し疲れが溜まってきたりする頃ではないでしょうか？お子様も保護者の皆様も行事の中で、思いの他ご負担がかかっていることもありますので、ぜひ一呼吸ついていただければと思います。